

ワークショップ Let's LETS

1 LETS (Local Exchange and Trading System)

- (1) 地域通貨、エコマネー、交換の輪 などのバリエーションと名称がある
- (2) 国家あるいは世界市場で流通する法定通貨へのオールタナティブ
- (3) 銀行や政府が貨幣の信用を保証するのではなく、地域の人々の相互信頼関係にもとづいて発行される地域的貨幣
- (4) 貨幣の三機能（交換手段、価値表示、価値保存）のうち価値保存機能を否定し、交換手段としてのみ使用（貨幣自体が価値、諸商品を支配する倒錯した状況を否定する。Letsは使用（交換）するためのもので、使用しないで貯蓄しても利子を生まないし、逆に減価していく）。
- (5) 市場経済システムでは評価されない、地域の人々のさまざまな能力や資源を相互に交換し、役立てることにより、地域社会の協同、連帯、活性化をめざす。
- (6) 各人が自己の持っている能力を再発見する。逆に自己が地域社会に貢献できるものをどれだけもっているかを再認識できる。

2 この授業で LETS ワークをやる意味

- (1) LETS は単に地域経済・福祉事業というだけではなく、教育・文化的な活動でもあり、地域における生涯学習の一形態といえる。それが、どのようなものであるか、どのような可能性をもつかを実体験してみる。
- (2) この授業のクラスそのものがひとつのコミュニティといえる。そのコミュニティのメンバー相互が互いに知り合い、協力していくための機会としても位置づけられる。
- (3) この実験が機縁となって、受講者が LETS への関心を深め、実践していくことを期待して。

3 LETS ワークの進め方

- (1) 事前準備
 - ① あらかじめ配布された LETS 参加用紙に提供できるもの、欲しいものを最低 5 つ書いておく。
- (2) ワークショップ
 - ② 各人の持参した参加用紙をまとめて壁などに、見やすいように貼り出す。これが、交換のための情報交換所となる。
 - ③ 全員がその前に集まり、掲示された情報を見ながら、販売、購入の交渉を行う。（各人簡単な名札を付けておく）
 - ④ 交渉が成立したら、バランスシートに記録し、相互に確認のサインをする。
 - ⑤ 終了後、バランスシートを計算し、全体の評価、印象を記入して提出する。
- (3) ワークショップ後
 - ⑤ 上記の交換契約に基づき、可能な限り実際に物やサービスを提供しあう。